



## 魚津市9月補正予算(案)について

国の制度改正に伴う幼児教育・保育無償化への対応に努める一方で、教育環境の充実や産業振興にも重点を置いた施策を実施します。また、引き続き厳しい財政状況を踏まえ、寄附金等の財源の確保に努めた予算編成を行いました。

一般会計総事業費 121,873千円(H<sup>30</sup> 9月補正 218,383千円 △44.2%)  
9月補正後の一般会計予算総額 17,787,438千円

### 1. 一般会計補正予算

(単位:千円)

既定額	補正額	合計	主な歳出項目	
17,665,565	121,873	17,787,438	ふるさと寄付推進事業	54,654
			国県支出金返納金	58,553
			創業者支援事業	6,677
			保育料無償化・副食費無償化	6,325
			読書記録帳導入事業	1,815
			財産管理費(財源振替によるもの)	△ 24,514

### 2. 主な補正財源

(単位:千円)

歳入	補正額	主な対象事業等
国・県支出金	66,846	国県からの補助等 66,846 (保育料無償化・副食費無償化、個人番号カード利用環境整備など)
森林環境譲与税	6,500	(仮称)森林環境保全基金へ積立 6,500
寄附金	38,370	ふるさと寄附金 37,000、図書館読書記録帳導入 1,370
その他	10,157	地方交付税、市債、繰入金

## ◇教育環境充実・子育て支援

## 【新規】図書館「読書記録帳」導入事業

預金通帳のように、貸出図書の記録が記入できる「読書記録機」を導入する。

子どもの読書意欲を高め、読書習慣を形成することで学力向上を目指すとともに、利用者の読書活動及び生涯学習活動の推進を図る。

○導入時期 …令和2年1月

○通帳について…販売(大人:300円/冊・高校生以下:100円/冊)

市内小学1年生(270名/年)に無料引換券1枚配布

○寄附について…国際ソロプチミスト富山一東認証30周年記念



【事業費】 1,815千円

【財源】 寄附金 1,370千円

雑入 115千円

市負担 330千円

【担当】 図書館 24-0462

## ◇教育環境充実・子育て支援

### 【新規】幼児教育・保育無償化事業(保育相当料)

10月から国制度により幼稚園等に通う全児童及び保育園・認定こども園の3歳以上児(年少～年長)の保育料が無料化。(3歳未満児は、住民税非課税世帯が対象)

市制度において、0～2歳児についても、第3子以降児童、同時入所している第2子は、引き続き保育料が無料。

6月時点 入所児童数	うち国制度による 無償化対象見込み数	うち市制度による 無償化対象見込み数	うち無償化対象外
1,293人	832人	219人	242人

#### 無償化の対象児童

① 5歳児(年長) (H25.4.2～H26.4.1)
4歳児(年中) (H26.4.2～H27.4.1)
3歳児(年少) (H27.4.2～H28.4.1)
③住民税非課税 2歳児 (H28.4.2～H29.4.1)
② 1歳児 (H29.4.2～H30.4.1)
0歳児 (H30.4.2～)

#### 無償化対象児童数見込み

内容	対象児童数 見込み
①保育料無償対象児童 (3～5歳児)	812人
②2歳児1号認定 (幼稚園等に通う 年度途中に3歳になる児童)	4人
③0～2歳児住民税非課税	16人

#### 軽減対象の具体例

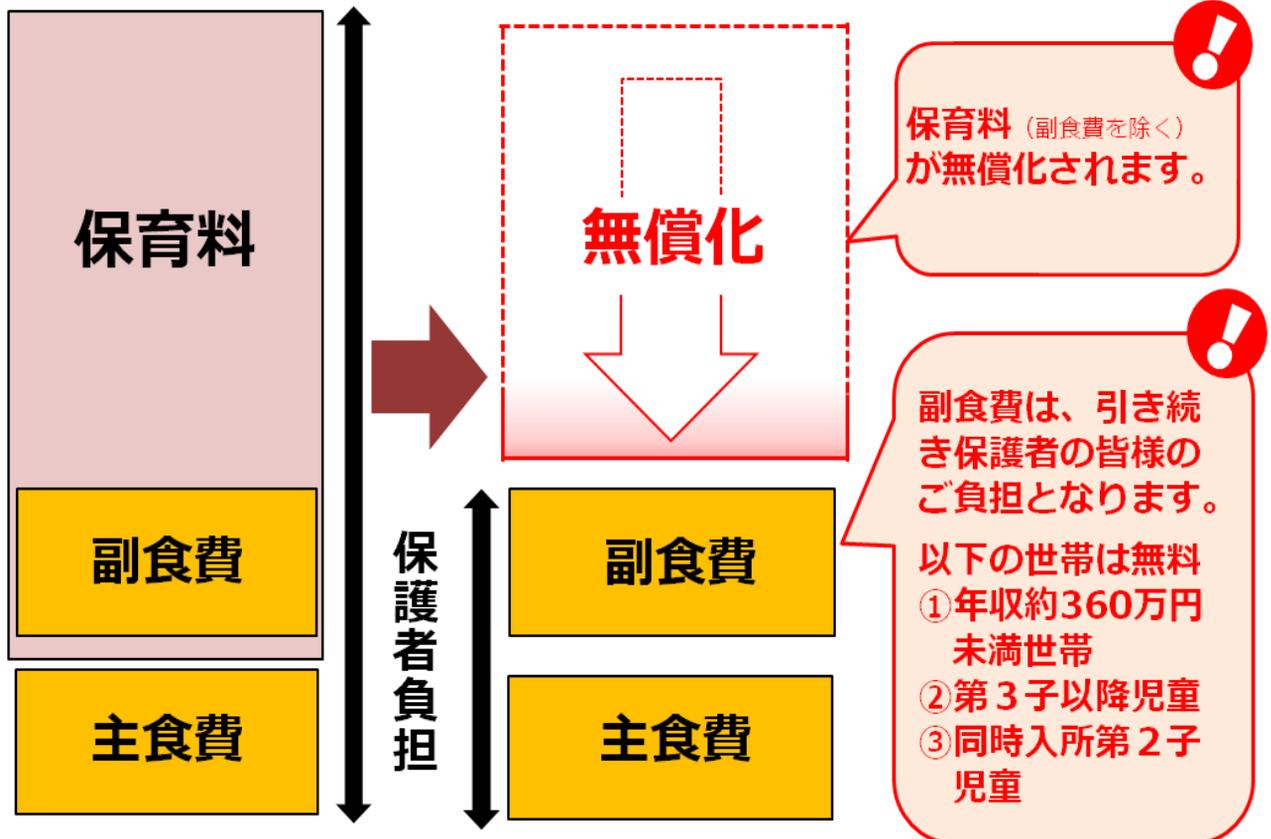
	第1子	第2子	第3子
第1子のみ入所	保育料全額 (3歳以上児なら無料)		
第1子第2子同時入所	保育料全額 (3歳以上児なら無料)	同時入所第2子 無料	
第2子のみ入所		保育料全額 (3歳以上児なら無料)	
第2子第3子同時入所		同時入所第2子 無料	第3子以降 無料

## 【新規】幼児教育・保育無償化事業(副食費)

今回の保育料無償化により、副食費相当分は、無償化の対象外となるため、新たな負担が生じないよう国制度で①年収約360万円未満世帯の副食費を無料とする。魚津市では、これまでも第3子以降児童や同時入所第2子児童の保育料を無料にしてきたので、②第3子以降児童、③同時入所第2子児童の副食費も引き続き無料とします。

～これまで～

～無償化後（令和元年10月以降）～



対象児童数見込み 323名

【事業費】		6,325千円
【財源】	国負担	61,783千円
	県負担	2,033千円
	給食費	4,448千円
	市負担	△61,939千円

【担当】 こども課 23-1079

## ◇魅力的なまちづくり

## 【拡充】ふるさと寄附推進事業

ふるさと納税を受け付けるWEBサイト数を1サイトから5サイトに増やすことで、魚津市が進めるまちづくりを積極的にPRし、寄付者の増に繋げるもの。また、寄付者へ贈る特産品をとおして、さらなる魚津市の魅力を伝える。

## ◎掲載WEBサイト

- 平成27年12月 ～ ・ふるさとチョイス
- 令和元年8月～ ・楽天ふるさと納税  
・さとふる  
・ふるまる
- 令和元年9月～ ・ANAふるさと納税



	寄付額		返礼品の品数
	8月末時点	年度計	
平成30年度	97件 3,650千円	930件 18,932千円	50品
令和元年度	352件 7,988千円	56,000千円	82品

【当初予算】	29,418千円
【9月補正】	54,654千円
補正後予算	84,072千円

【9月補正財源】	寄附金	37,000千円
	地域づくり基金	17,654千円

【担当】 企画政策課 23-1067

## ◇産業振興

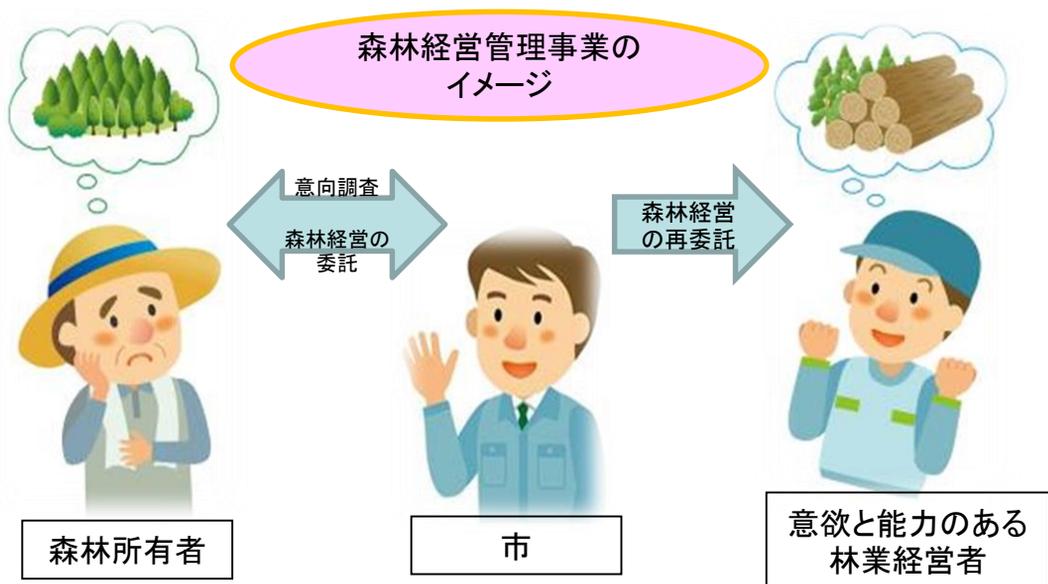
## 【新規】森林経営管理事業（森林環境譲与税の基金積立）

経営管理が行われていない森林について市が森林所有者の委託を受け、経営管理権を設定、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、森林整備を促進する。

【対象】 過去10年以上、森林整備が行われていない民有の人工林

本年度は、予算支出を伴わない事前調査や、関係機関との協議等を行い、令和2年度当初から、森林所有者への意向調査、間伐等の森林整備事業を実施する予定としている。その財源として本年度から交付される森林環境譲与税について、(仮称)森林環境保全基金(※)へ積み立てる。

※(仮称)森林環境保全基金は、9月議会に魚津市基金条例の一部改正案を提案し、設置の予定。



【事業費】 9月補正 6,500千円  
※(仮称)森林環境保全基金へ積立

【財源】 一般財源 6,500千円  
※国からの森林環境譲与税 100%

【担当】 農林水産課 23-1036

## ◇産業振興

## 【拡充】創業者支援事業

商工業の継続的な発展を実現し地域経済の活性化を図るため、市内で新規開業・創業をする場合に助成する。

平成30年度末で旧制度は廃止し、ニーズの高かった初期投資への支援について新たな枠組みで支援。

## 【新規】創業者支援助成制度(新制度)による助成(平成31年4月から適用)

- ①店舗・事務所などの改装費用に対して助成
- ②奨励金を支給
- ※①②いずれかを選択

○事業費 5,500千円

創業助成 500千円 × 8件 = 4,000千円

奨励助成 100千円 × 15件 = 1,500千円

## 【継続】新規開業助成金(旧制度)による助成

平成30年度末申請への対応

○事業費 1,177千円

当初予算額 11,160千円

決算見込額 12,337千円



【事業費】 6,677千円

【財源】 市負担 6,677千円

【担当】 商工観光課 23-1096

# 決算の状況について

- ◎平成30年度の実質収支は、昨年度から3.3億円改善し8.8億円。
- ◎しかしながら、暖冬による除雪費の減(2.8億円)、基金の取崩し(4.3億円)が主な増加要因であり、これらを考慮すると、引き続き厳しい財政状況。

## 《決算の概要》

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (① - ②)	④繰越すべき 財 源	⑤実質収支 (③ - ④)	⑥単年度 収 支 (前年度実質収支 との差額)
H30	19,273,341	18,326,773	946,568	63,945	882,623	329,676
H29	18,497,282	17,802,135	695,147	142,200	552,947	395,873
H28	18,284,808	17,926,818	357,990	200,916	157,074	△ 206,241

### (実質収支の主な増加要因等)

- ①除雪費用の減  
(~~29~~4.1億円⇒~~30~~1.3億円) +2.8億円
- ②個人市民税等市税の増 +1.4億円
- ③基金の取崩し 4.3億円

H30基金取崩し額	
財政調整基金	0
地域づくり基金	△96,248
社会福祉基金	△178,417
公共施設整備基金	△120,936
その他基金	△33,930
(合 計)	△429,531

### (参考) 基金残高の推移

(単位：千円)

年度	基金残高
H30	1,328,191
H29	1,723,872
H28	2,323,960